

# ようこそ滋賀県へ “Mother Lake”びわ湖

## 滋賀県ってこんなところ

日本のほぼ真ん中に位置する滋賀県。その中央に県土の約6分の1を占める日本最大の湖・琵琶湖を抱え、周囲には緑豊かな山々や田園風景が広がる、水と緑の豊かな自然にふれ合うことができます。悠々と水をたたえる琵琶湖と周囲が織りなす美しい風景は、季節の移ろいに応じた折々の景観として楽しむことができます。びわ湖の雄大さと変化に富んだ風景は、「琵琶湖八景」や「近江八景」として風光明媚な景色を紹介しています。また、交通の要衝の地でもあり、古くから文化・経済の先進地として栄えたこの地には、古刹・名刹の歴史ある寺社や戦国時代をはじめとする英傑たちの足跡、歴史情緒が残る町並みなど、奥深い歴史文化があり、国内有数を誇る歴史文化資産は、今もなお県内のそれぞれの地域で大切に守り伝えられています。

## 日本一の豊かな湖

400万年もの歴史を持つといわれる日本一の湖“びわ湖”。淡路島がすっぽり入り込む広大な面積に溜められた豊富な水は、滋賀県だけでなく近畿1,400万人もの人々を支える貴重な水源となっています。また、悠久の歴史を持つ琵琶湖では、様々な生物が豊かに育まれてきました。湖とその周辺には、1,000種以上の動植物が生息し、ビワマスやセタシジミなどの固有種も多く見られます。冬には、たくさん水鳥が集い、羽を休める場として、夏には、湖上レジャーをはじめ、多くの観光客がやすらぎを求めるリゾートの場として、季節や時間帯によって、実に変化に富んだ眺望と多様な恵みをもたらしてくれています。私たちにとって琵琶湖は母なる湖、まさに“Mother Lake”です。

## 歴史を見守ってきた湖

権力者たちが見下ろした湖・歴史を動かす戦いを見守った湖琵琶湖は、古来軍事や交通の要衝であり、湖の周辺には歴史上重要な役割を果たした場所がいくつもあります。古くは、天智天皇が建都した近江大津京。安土山には、織田信長による日本初の本格的な石垣と大型天守を有する安土城が築城され、今もその城跡が残されています。豊臣秀吉が初めて城主となった長浜や徳川幕府の譜代大名・井伊家の居城であった国宝・彦根城もあります。また、歴史を動かす合戦も多く、日本古代最大の内乱であった壬申の乱（瀬田橋の戦い）や戦国時代の「姉川の戦い」、「賤ヶ岳の戦い」の舞台にもなっています。びわ湖は、歴史を動かした英傑たちに眺められ、歴史を左右する戦いを見守ってきました。



第50回全国中学校卓球大会ホームページ  
<http://www.zenchu-shiga-takkyu.jp/>

参照：滋賀びわ湖観光情報  
<https://www.biwako-visitors.jp/welcome/about/>



第50回全国中学校卓球大会

君の夢

かなえる場所が

近畿ここにある



# 1